



(左から) 佐藤さん、村山・登坂両共同代表、モラレス一等書記官、齋藤さん、村上事務局次長、鎌田事務局長

ようこそ！ アレクサ・モラレス一等書記官

CUBAPON と初の懇談会

ダイロン・オヘダ政務担当一等書記官、ジョセリン・カバーニャス三等書記官の後任としてアレクサ・モラレス政務担当一等書記官が着任されたことを受けて、6月6日、CUBAPON との懇談会がキューバ大使館で行われました。

来年は
フィデル生誕
100周年。
来てくれる
だけで大きな
支えです。



歯切れの良い対応がステキな
アレクサ・モラレス一等書記官

キューバ人民は選択肢を探りながら抵抗している

応接室に通されるとすぐに、モラレス一等書記官から、この間のキューバ大使館の取り組みや、困難な中で選択肢を探りながら抵抗を続けているキューバの現状、米国による経済封鎖強化やテロ支援国リスト及び対テロ対策に協力しない国リストを使ったキューバ「封じ込め」と、それに対するキューバの闘いについてお話がありました。

その中で、「今年は ICAP (キューバ諸国民友好協会) 創設 60 周年、来年はフィデル・カストロ生誕 100 周年を迎えます。プロジェクトを協力して進めることも大切ですが、来てくれるだけでキューバにとって大きな支えになります」と話されました。

その後、私たちの質問に答える形で懇談が進み、時間を忘れて活発な意見交換が行われました。



懇談の様子

■モラレス一等書記官のお話 (要旨)

米国による経済封鎖はキューバの収入源を断ち切る目的で行われており、200 以上の追加措置でさらに強化されている。

また、米国がキューバをテロ支援国リストに載せるのは、キューバの医療支援を阻止する意図がある。キューバはどんな国も分け隔てしないが、米国との関係を崩したくない国はキューバと関係を持つことを警戒している。

そうした中で、中国といくつかのプロジェクトが進んでいる。一方、BRICsには、昨年、準加盟国となったが、その枠組みでは今のところ動きはない。今後、融資やプロジェクトが動いていくことを期待したい。

キューバは主要産業を砂糖から観光、バイオテクノロジーへと転換してきた。特にバイオテクノロジーの分野ではコロナワクチン、糖尿病の特効薬の開発など、目覚ましい成果を上げてきたが、輸出するにはライセンスが必要となる。

現在、力を入れているのは農業分野で、民営化を含め、改革を進めている。



アレクサ・モラレス一等書記官から感謝状を手交される
登坂共同代表

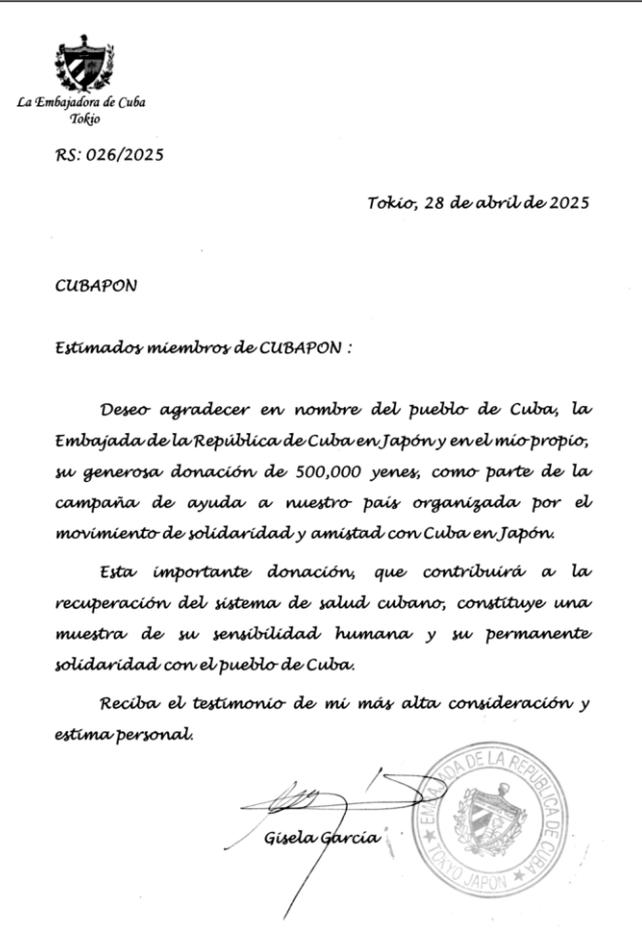
停電・ハリケーン・地震 キューバ支援カンパ

皆さまのご協力で、頑張るキューバに 500,000円を
お届けすることができました。
ご協力ありがとうございました！

2024 年秋、キューバは、ほぼ全域での大規模停電(ブラックアウト)、2つのハリケーン「オスカー」、「ラファエル」の上陸、2度にわたる地震に襲われ、大きな被害を受けました。

これを受け、今年 1 月、CUBAPON は、キューバの苦しみに寄り添い、ともに闘う思いをキューバの人々に届けようと、「支援カンパ」を取り組み、皆さまのご協力でキューバに 50 万円の支援金をお届けすることができました。

6 月 6 日、アレクサ・モラレス第一書記官より、キューバ大使からの感謝状が手交されました。



RS: 026/2025

Tokio, 28 de abril de 2025

CUBAPON

Estimados miembros de CUBAPON:

Deseo agradecer en nombre del pueblo de Cuba, la Embajada de la República de Cuba en Japón y en el mio propio, su generosa donación de 500,000 yenes, como parte de la campaña de ayuda a nuestro país organizada por el movimiento de solidaridad y amistad con Cuba en Japón.

Esta importante donación, que contribuirá a la recuperación del sistema de salud cubano, constituye una muestra de su sensibilidad humana y su permanente solidaridad con el pueblo de Cuba.

Reciba el testimonio de mi más alta consideración y estima personal.

Gisela Garcia

【訳文】

2025 年 4 月 28 日

日本キューバ連帯委員会 CUBAPON の皆様

このたび、日本国内のキューバとの連帯友好運動が呼びかけてくださったキューバへの支援募金に際し、皆様より 500,000 円の寛大なご支援をお寄せいただきましたことに、キューバ国民と駐日キューバ大使館を代表し、また私自身からも厚く御礼申し上げます。

今回のご支援は保健医療分野の復旧に充てられる予定です。そして、キューバの人々への皆様の思いやりと永続的な連帯の証しとなるものです。私の最も深い敬意をお受けください。

駐日キューバ大使
ヒセラ・ガルシア

キューバ大使からCUBAPON への感謝状

キューバ大使館お勧めの本のご紹介

「キューバを知るための 50 章」

◆内容紹介◆

革命から 60 年以上が経ち世代交代が進むキューバ。多くの資料が公開され、革命関連だけでなく文化・芸術など広範な分野の研究も可能になった。米国の厳しい経済制裁下でも我が道を歩み続ける国の姿を、気鋭の執筆陣が新たな知見を交え様々な角度から紹介する。(明石書店 Web サイトより)

- ・ 出版社 明石書店
- ・ 編著 / 後藤政子
- ・ 288 ページ
- ・ 2200 円



計報

菊田仁さんが三月十二日、病
気療養中のところ手厚い家族の
看護もむなしく、享年六十六歳
の生涯を終えました。

菊田さんは、農業改良普及員
としてのノウハウを持って、ク
バポンが2011年から実施し
た「キューバ・青年の島米自給
支援プロジェクト」に参加いた
だき、2014年には、青年の
島に長期滞在し、コメ作り指導
を行うなど、プロジェクトのか
なめを担っていたいただきました。

近年は、各種選挙の応援など

を行っていましたが、昨年十二月に
ガンが見つかり、
入院しての闘病が
続いていました。
ここに謹んでお悔
やみ申し上げ、お
知らせいたします

(齋藤悦男)



青年の島の田んぼに立つ菊田さん



CUBAPON 役員体制

役職名	氏名
共同代表	村山 智彦 (長野)
〃	登坂 崇規 (新潟)
〃	依 頼 中
共同代表/事務局長	鎌田 篤則 (東京)
事務局次長	村上久美子 (福島)
事務局	佐藤 有恒 (東京)
監 査	根岸 均 (東京)

CUBAPON 2024 年度収支報告

皆様の協賛で 2024 年度もキューバ連帯活動を続けることができました。御礼申し上げます。

送料と印刷費の高騰により、CUBAPON 結成以来、30 年間 3,000 円としてきました協賛会費を 5,000 円とさせていただいたこと、及びキューバへの緊急カンパをお願いしてきたことなどありましたが、皆様のお力添えで活動を維持することができました。



2024年6月1日~2025年5月31日

支出		
会報印刷代	98,650	71号、72号発行
その他印刷代	66,470	チラシ、封筒、郵便票、資料等
送料・送金料	183,903	会報71号、72号郵送料、連絡郵便など
事務局諸費	58,000	H P制作、PC インク、交際費など
事業費	500,000	24度緊急支援金
資料代	16,000	カリブの社会主義 22号
計	923,023	
収入		
23繰越	-205,582	IFCC より 23 年度借入
24 会費	315,000	63 人
24 活動カンパ	237,500	33 人
緊急支援カンパ	555,152	69 人
借入金	20,953	IFCC より 24 度借入
計	923,023	

※会費値上げの影響か、会員登録が 80 人から 63 人に減退した。
 ※緊急カンパを 2025 年に入り取組み 69 人から 555,152 円の協賛を得た。
 呼びかけチラシの印刷代、案内送付など必要経費を差し引いた 481,277 円
 に本会計から一部補填し、500,000 円の支援金を贈呈してきた。
 ※収支バランスは改善したが、一部借入金が残ることになった。
 ※会報 2 回発行により印刷、送料等は前年より減少したが、年 3 回発行が
 望ましい。

6月6日、CUBAPON 役員会を開き、役員体制を確認しました。

共同代表に新たに登坂氏が就任したほか、新たな事務局員を迎え、いっそうの活性化を図ることとしています。

また、共同代表を退かれる君島一宇氏、同じく齋藤悦男氏の両氏には「顧問」として、今後とも事務局運営等引き続きご指導を頂くことになりました。

セニョリータのラ米★ウォッチ ゆる〜く配信中



CUBAPON ニュースを補完するツールとして、中南米を中心に「今、起きている」ホットなニュースをセニョリータの視点でピックアップし、メールでお届けしています。

配信ご希望の方はこちらのアドレスにメールを送って下さいね↓

jvccpf@rmail.plala.or.jp



壇上のディアス=カネル大統領の横にラウル・カストロ氏も



革命広場に向かう人波で埋め尽くされた大通り

キューバが最も暑い日 メーデー



キューバが最も熱くなる5月1日、ハバナの「メーデー」会場となる革命広場に早朝から大勢のハバネロたちが集まりました。

「キューバのために、ともに創造しよう」というスローガンのもと、キューバ革命の成果を守り抜く決意を改めて示しました。



何でメーデーに、ここに来て行進するのかって？
だって、革命を守らなきゃ！この革命が必要だってアピールするんだ。
マイアミでは、俺たちがメゲてるって言ってるらしいけど、そんなのウソだ。
俺たちはメゲない。
最高にハッピーだ！
(踊る青年たち)

できた！できる！これからも、必ずできる！

キューバ革命の指導者である、親愛なるラウル・カストロ革命軍将軍！

キューバ共産党中央委員会第一書記、共和国大統領、ディアス=カネル同志！

歴史的世代の戦士で、私たちがその存在を光栄に思う皆さん！同志の皆さん、そして、キューバ国民と同じく、脅しや脅迫を恐れず、今日ここに私たちとともにいて下さる世界中の友人たちの皆さん！同胞の皆さん！

再び、私たちはここにあります！キューバ全土、そしてこの歴史あるホセ・マルティ革命広場において、私たちは、国際労働者の日を祝っています。この場所で25年前、フィデル・カストロ最高司令官が、革命とは何かについて最も包括的な概念を私たちに遺訓として述べ、それに何100万人ものキューバ国民が賛同しました。

私たちは、国際情勢が複雑さを増す中で、世界の労働者階級の祭典を祝っています。現在、世界は、新たに危険な帝国主義の攻勢にさらされており、それは、ネオファシズム的な形で現れ、国際秩序を再構築しようとし、平和共存や国家間の主権平等という原則を否定し、人々が勝ち取ってきた正義と人間の尊厳の成果を後退させようとしています。

このような中でも、キューバは先人に忠実であり続け、祖国を決然と守り抜くという揺るぎない決意を堅持しています。私たちの最も優れた子どもたちの血と膨大な犠牲によ

って、先人たちが勝ち取った祖国を、私たちは、立ち上がり、闘って守っています。

私たちは、自由、独立、社会正義を確立するための闘いを揺らぐことなく続けていきます。それは、今日、国中の広場を埋め尽くす人々の海が、力強く証明しています。「キューバのために、共に創造しよう」というスローガンのもと、勝利の最大かつ決定的な保障が、団結と働く力、革新する力、そして物事を新たに成し遂げる力にあるという確信を裏付けています。

私たちの誓いは、平和で、豊かで、公正な未来のためのものです。それは、現代の試練を乗り越えた先にある進歩に満ちた未来、尊厳ある労働と連帯に根ざした未来です。

未来は、社会主義のものです。

労働者の皆さん！

革命が常に揺るぎなく続いているのは奇跡ではありません。それは、一人ひとりの同胞、特に労働者の貢献の賜物です。労働者は国の社会経済の変革と発展を支えており、国民のニーズを満たすこと、そして労働条件や賃金の改善に尽力しています。私たちが望むペースでの進展は難しいとしても、努力は継続されています。

私たちは、やるべきことが多く残されていることを自覚しています。整理すべき課題、一掃すべき歪みや否定的傾向があり、その中には多くの官僚的態度、改善すべき仕事の手法やスタイルも含まれます。それらを克服するためには、規律、努力、創造



私にとって、全てのキューバ人にとって、フィデル・カストロは先生だ。私たちが封じ込める者たちは、誰であれ絶対に許さないよ。

早起きして来て、本当に良かった。だって、こんなにステキな行進に参加できたんですもの。
(子ども劇団コルメニータの少女)



私たちは、キューバに対する経済封鎖の撤廃を求める。私たちはキューバ人だ。キューバ革命が今なお生きているように、チェも全てのキューバ人の心の中で生きている。
(チェのTシャツを着たおじさん)

メーデー行進は、多くの困難の中で革命と国が成し遂げてきたことへの感謝の形の一つだ。この子はうちの末娘だ。原則と価値観、どんな状況でも国を守らなければならないと娘に教えたい。



——キューバ労働者中央組織 ウリセス・ギラルテ・デ・ナシメント書記長

性、科学、そして知識が不可欠です。この道を進むには、各部門や職場の生産力の潜在力を最大限に引き出すことが求められます。社会主義国家企業に与えられた権限を強化し、非国家部門との適切な連携を図ることで、商品やサービスの供給を多様化・拡大させ、外貨収入の増加にもつなげなければなりません。特に、食料生産の増加と自給体制の確立は不可欠であり、輸入に依存する現状を打破し、一層の価格高騰の影響を和らげる必要があります。

闘う同志の皆さん！

私たちは真実、正義、そして道理が、私たちの側にあると確信し、アメリカ合衆国政府によるキューバへの非人道的な経済・通商・金融封鎖の解除を引き続き強く求めます。この封鎖は、近年さらに新たな制裁措置によって強化され、その悪影響は、1月20日に私たちの国が一方的かつ根拠なく「テロ支援国家リスト」に再び加えられたことで、さらに深刻になりました。その目的は、国民生活に困窮をもたらし、国家を不安定化させ、キューバを屈服させようという、これまで失敗を重ねてきた「夢」を実現しようとするものです。

同時に私たちは、キューバが50を超える国々で提供している医療協カプログラムに対するアメリカの悪意あるキャンペーンも非難します。このキャンペーンは連帯と人道主義の真の模範であるキューバの活動を無意味に

しようとするものです。

また、イスラエル政府が、パレスチナ人民に対して行っているジェノサイド戦争に対し、私たちは断固として非難の意を表明します。

国際労働運動や、資本主義体制とその新自由主義政策によって搾取されている世界中の労働者に、私たちは連帯の旗を掲げます。

敵がどれだけ努力しようとも、この国際労働者の日の祝典が明らかにしているように、英雄的なキューバ国民が、自らの革命を圧倒的に支持していることを隠すことはできません。

この革命は、国民の利益を代表するものであり、経済戦争の中においても、私たちは全員の参加と責任、そして自らの努力で日々闘い、解決策を追求します。そして、革命の指導者であるラウル・カストロ革命軍将軍が、革命65周年の演説で語ったように、「できた。できる。これからも、必ずできる」と私たちは確信しています。

ビバ！メーデー！（ビバ！）

ビバ！国際連帯！（ビバ！）

Hasta la Victoria siempre !



いま、中南米では

中南米情勢が緊迫しています。
CUBAPON はキューバ連帯の旗を掲げるとともに、中南米の人民の闘いと状況を発信します。

● 不正選挙の疑い濃厚！エクアドル大統領選挙

4月13日投票のエクアドル大統領選挙は、すべての事前調査、出口調査で勝利が確実視されていた市民革命候補ルイサ・ゴンサレスが現職ダニエル・ノボアに約10ポイントの大差で敗れるという予想外の結果となりました。

ルイサ・ゴンサレス候補はただちに「現職ノボアによる不正選挙」を非難し、「選挙結果を認めない」ことを表明しました。

また、CELAC（ラテンアメリカ・カリブ諸国共同体）はじめ、南米、ヨーロッパ諸国のリベラル～左派政党や市民グループからエクアドルの不正選挙を非難する声明が相次いで出されています。

一不正選挙が疑われる理由

- ① 現職大統領の立場で立候補することはエクアドルの憲法に違反するが、ダニエル・ノボア大統領は、選挙に立候補するために休職を申請せず、大統領職を継承するはずだったベロニカ・アバド副大統領を1月に違法に解任し、継承の原則を阻害、これにより大統領は国家機構を選挙機関として利用することが可能となった。
- ② ノボアはさまざまな分野に7種類のボーナスを配布し、推定5億6,000万ドルを投資した。
 - ・18歳から29歳までの失業者に対して月400ドル配布
 - ・寒冷地の30歳から64歳までの失業者に対して月400ドル配布
 - ・雨の影響を受けた農業生産者に月800ドル配布
 - ・起業家に月1,000ドル配布
 - ・国内武力紛争に参加した軍人、警察官に月507ドル配布
 - ・避難家族に月235ドル配布
 - ・油流出補償金：被害を受けた家族に470ドル配布
- ③ ノボアは選挙の前日にキトと他の7つの州に非常事態を宣言。また、選挙運動中、外国人に対し陸上国境を閉鎖し、反対者を起訴した。
- ④ 選挙管理委員会は選挙運動の途中で選挙規則を変更、ベネズエラ在住のエクアドル人の投票を阻止、選挙前夜には投票所の場所を変更するなどした。尚、全国選挙管理委員会の議長ダイアナ・アタメントの弟ビニシオ・カル氏は、ノボアによってニューヨーク・クイーンズ区の領事に任命されている。
- ⑤ 投票日当日、数カ所の「降雨のため」投票所が閉鎖された。
- ⑥ 投票立ち合い人のサインのない投票記録（アクタ）が有効票にカウントされているケースが現在のところ6件見つかった。

ゴンサレス候補が再集計を求め中、5月24日、ノボアの大統領就任式が強行されました。ノボアへの批判は強く、中南米地域で就任式に出席した首班はペルーのボルアルテ大統領とコロンビアのグスタボ・ペトロ大統領の2人だけでした。メキシコのシェインバウム大統領は「ノボアが大統領である間、メキシコはエクアドルとの一切の外交関係を断つ」と宣言しています。



ルイサ・ゴンサレスは結果を認めず、不正選挙を非難！



選挙期間中、緊急事態令法を発令



武装した軍隊の立ち合いのもと結果発表

ラテンアメリカ・カリブ海諸国共同体 (CELAC) 首脳会議開かれる

4月9日、12カ国の大統領を含む加盟国33カ国の代表がホンジュラスのテグシガルパに集い、第9回ラテンアメリカ・カリブ海諸国共同体(CELAC)首脳会議が開催されました。



団結こそが私たちを救う — ディアスカネル キューバ大統領の演説 (要旨)

私は、ラテンアメリカおよびカリブ海諸国の人々が「アンデスの山脈の根元の銀のように緊密に結束する」必要性は、これまで以上に明白かつ緊急であると信じる。このことは、団結のみが私たちを救うことを理解していたホセ・マルティが警告していたことである。

現在の米国政府は平和共存や国家間の主権平等といった基本原則を無視し、多国間主義や国際法に反している。移民の無差別な強制送還はラテンアメリカおよびカリブ諸国の市民の基本的な権利の侵害だ。不法に占領されているキューバのグアンタナモ米海軍基地が、移民の投獄に再び利用されるといふ、キューバと地域の安全と平和を脅かす残虐かつ違法な行為が行われている。

パナマの主権を無視し、パナマ運河を管理しようとする試みも行われている。

米国が、モンロー主義への回帰を宣言したことに対し、団結をもって立ち向かうしかない。これは、CELACの強化の重要性を意味する(拍手)。

世界が緊張の高まり、武力紛争や非正規戦争の増加、そして不平等、社会的排除、貧困の深刻化を経験している今、ラテンアメリカおよびカリブ海諸国の幸福、平和、安全のために力を合わせ、協力することが必要だ。協力関係を拡大し、各国に利益をもたらすプロジェクトを特定し、地域経済間の相互補完性を活用することが急務だ。そのためには、各国の立場を調整し、共同体としての歴史的な合意を守り、各国が関心を持つその他の問題について共通の観点を特定することが不可欠だ。

・破壊的なハリケーンの影響に苦しむカリブ海地域から、気候変動に対する対策の強化を訴える。

・60年以上にわたり最も残酷な形で強化されてきた経済・金融封鎖による人的・物的影響に抵抗してきたキューバの名において、国際法の原則と規範に違反する途上国に対する一方的な強制措置をただちに停止するよう要求する。

・根拠のない一方的決定により、わが国をテロ支援国家の詐欺的なリストに再び加えるという決定を非難する。

・キューバが50カ国以上に対して提供している医療協力プログラムに対する根拠のない非難が浴びせられている。キューバが封鎖や中傷キャンペーンから解放され、平和のうち

に生存し、発展する正当な権利を支持するよう呼びかける。

・帝国主義の侵略に抵抗し闘うベネズエラのマドゥロ大統領、英雄的ポリバル人民への最強の支援を確認する。

・主権と自決権を守るために闘うニカラグアとオルテガ・ムリーリョ共同大統領への支援を再確認する。

・植民地主義と奴隷制の被害に対する賠償を受ける権利を支持することを確認する。

・米国の干渉に対する主権を防衛する多民族国ボリビアへの支援と連帯を表明する。

・プエルトリコの自決権と独立、コロンビアにおける平和への努力、マルビナス諸島はじめ周辺海域の諸島に対するアルゼンチンの権利に対し明確に支持を表明する。

・ハイチの平和的かつ持続可能な解決策を見出す正当な権利を擁護する。

・ドミニカ共和国の痛ましい出来事に際し、犠牲者のご家族に対し、哀悼の意を表す。

・他国の共犯的な沈黙と米国の武器、資金、国連における拒否権の支援を受けたイスラエルのパレスチナ人に対するジェノサイドを断固として非難する。

・このサミットへの中華人民共和国の国家主席である習近平同志のメッセージに感謝し、この地域の発展に対する中国の多大な貢献と、具体的なプロジェクトに対する中国の確固たる政治的意思を認識する。

キューバは常に、中南米カリブ海諸国(CELAC)の強化と、中南米カリブ海諸国が国際舞台で再びその地位を確立するための統合に向けた取り組みの最前線に立つ。

さまざまな脅威が重なるこの時代においては、団結した力の結集が求められている。団結のみが私たちを救う。

ポリバルから今日に至るまで、我々がアメリカの勇敢な息子や娘たちが夢見て闘ってきた統合を、これ以上先延ばしにしてはならない。

ビバ！CELAC！



フィデル・カストロ革命最高司令官 生誕 100 年

フィデルが愛し、フィデルを愛する革命の島へ



革命のゆりかご、サンティアゴ・デ・クーバ

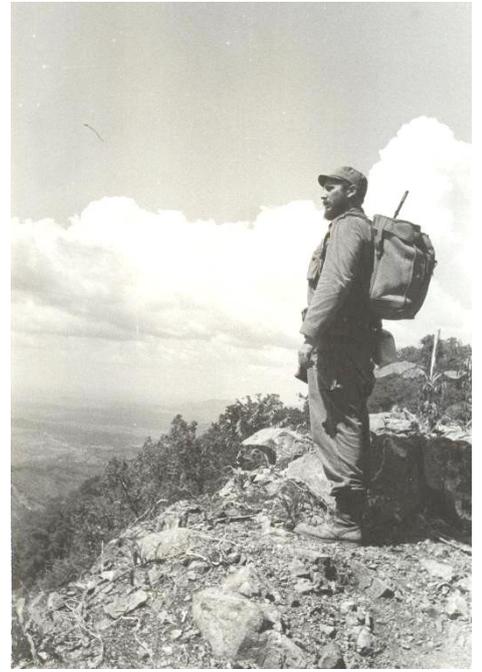


ハバナにオープンした「カストロセンター」

2026 年、キューバ革命最高司令官フィデル・カストロ（1926 年 8 月 13 日生まれ）生誕 100 年を迎えます。



米国からわずか 150km 先で革命を成し遂げたフィデルの足跡を辿り、あらゆる困難をはねのけ、フィデルの遺志と革命を守り抜くキューバの「今」を「2026 秋・CUBAPON キューバ友好訪問団」で体感してみませんか。



革命軍の本拠地シエラ・マエストラ



フィデル、ここに眠る



2026 秋・CUBAPON 友好訪問団（計画中）

催行予定：2026 年 11 月 30 日（月）～12 月 6 日（日）《8 日間》
成田空港発 アエロメヒコ利用

・アエロメヒコのフライトスケジュールの変更で、往復ともに当日のトランジットが可能となりました。これにより、キューバ国内に《たっぷり 5 泊》します。

- ・今後の情報次第で、催行日が変更になる場合があります。
- ・CUBAPON 訪問団はみんなで作る訪問団です。行ってみたい、見てみたい場所があればご一報ください。可能な限りスケジュールに反映させます。
- ・「いつか行ってみたい」と思っている皆さん、この機会に一歩踏み出してみませんか。

参加ご希望の方はご一報ください

詳細が決まり次第、資料と仮申込書をお送りします

FAX: 03-3268-6079

E-mail jvccpf@mail.plala.or.jp

IFCC(鎌田)



〇〇〇

Tour Facilitator

「アイエフシー」

は皆様の共同出資の会社です

▶ アイエフシーはIFCC・国際友好文化センターの関連 会社です。“人と人との出会い”を通じた友好と親善のプログラムを演出します。

▶ アイエフシーは文化、政治、福祉などの分野の視察、研修、調査のプログラムをお手伝いいたします。

▶ アイエフシーはキューバ、メキシコ、ベトナム、中国、ドイツ、デンマーク、朝鮮、ロシア、その他東欧諸国、西欧諸国、北欧諸国でのプランニングを行っております。

東京都新宿区山吹町316番地 菊地ハイツ101
TEL 03-3268-6014 FAX 03-3268-6079